

大分市に

住む。



大分市に住みながら 東京の会社に勤める フルリモートワーカー

都内の大学への進学を機に
上京し、卒業後も都内IT企
業に勤めていた折に、コロナ禍
に突入。「帰りたい時に大分に
帰れない、旅行にも行けない」



という現実と直面し、地元へ
帰ることを考えるようになって
たといいます。

地元へ帰る際は地元企業等
への再就職という形が一般的
な中、渡邊さんは、リモート
ワークならどこでも仕事があ
ると考え、フルリモートかつ
地方創生に携われる仕事を探
しました。その結果、ふるさと
納税事業や自治体支援事業な
ど地域の経済循環を促すため
の事業を展開する東京の会社
に就職し、顧客対応、イベント
やセミナーの実施、記事等のコ
ンテンツ制作などを大分市に
住みながら、すべてリモート
ワークで行っています。

大分県佐伯市出身。
小学校～高校時代は大分市で過ごす。
2021年4月に東京都から大分市に移住。
高校の同級生である夫も和歌山県から
Uターンし、大分市内に就職。

Watanabe's Profile

渡邊 愛さん (29)

リモートワークの メリットとデメリット

リモートワークのメリットは
なんといっても通勤に費やす
時間が無いということです。
渡邊さんの会社の就業時間は
9時から18時。自宅に職場な
ので、始業前に掃除や洗濯な
どの家事を済ませ、終業する
とすぐに夕飯準備に取り掛か
ることが出来ます。「東京では
時間に追われて余裕がありま
せんでしたが、大分では自分
のペースで生活ができるよう
になりました」と嬉しそうに
話していました。



渡邊さんがよく散歩する大分川河川敷

一方で、リモートワークなら
ではの悩みもあります。大分で
過ごしたのは高校生までとい
うこともあり、社会人の知り

合いが周囲に少ないというこ
とでした。しかし、渡邊さんは
地元に住む兄の紹介で異業種
の方と交流できるイベントなど
に積極的に参加し、新たな交
友関係を広げていきました。
働き方が柔軟になり、リモ
ートワークが普及しているとい
え、その生活を具体的にイ
メージできる人は少ないと思
います。そんな中、渡邊さんの
生活スタイルは新時代のロー
モデルと言えるでしょう。

大人になってわかる 大分市の魅力

東京で8年間過ごした後に
大分市に移住した渡邊さん。
最後に大分市の魅力と今後の
展望を語ってくれました。「い
ずれ出産することを考えると、
子育てや住みやすさの面で高
く評価されている大分市は安
心して移住できる街だと思
いました。こういう視点は高校
生の時には無かったですね。大
人になって住んでみて、分かる
ことも沢山あります。これからは
大分がもっともっと元気な街
になるように色々な取り組み
に参加していこうと思います。」

仕事探し・住まい探しを サポートします！

大分市内には、「大分での就職」を応援するおおい産業人財セン
ターや、創業を支援する大分市産業活性化プラザがあり、仕事探しのサ
ポート体制が整っています。また、住まいに関しては、「大分市住み替え
情報バンク」で空き家情報を紹介するとともに、移住者が住宅を取得・賃
借する場合には補助制度もあります(条件あり)。その他大分市の最新
の移住情報は「大分市移住応援サイト」をご覧ください。

大分市役所 おおい魅力発信局
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
TEL 097-578-7749
E-mail miryoku@city.oita.oita.jp



大分市移住応援サイト

暮らして実感 大分市はこんなまち /市の担当者から



大分駅府内中央口広場。
地上80mの展望露天風呂もすぐ目の前。
(写真左の建物)

移住を希望される方へ

県都大分市は人口約47万人。
子育て・教育環境や医療体制
も整っており、幅広い世代や
様々なライフスタイルにも対応
できます。また、大型商業施設
や文化芸術施設も充実し、ま
ちなかにある徒歩で行ける温泉も人気。暮らしやすい都市の環境と豊か
な自然を併せ持つ“ちょうどイイ”まちです。

Advice & My Favorite

別府市に住む。



別府市に訪れた時の直感で移住を決める

「温泉」と「地獄」が別府のイメージだったという八木みちるさん。旅行で立ち寄ったのも「正直に言うと、湯布院や黒川温泉のついでだった」そうだが、初めて訪れた別府の魅力に引き込まれ、移住を決意するまでに。

「住んでいた栃木になかった海にすごく憧れがあった、

坂の上から一直線に別府湾まで伸びる九州横断道路からの眺めがたまらなく良かったです。まちなみも路地裏やアーケードの商店街など古いものと新しいものが混在する雑多な感じがとても良かったし、人の優しさも移住の決め手でした。海や人、街並みなどいろいろなものが重なって、直感的に「ここだっ！」と移住を決めたという。

八木さんが感じた別府の魅力を周りの人にも知ってもらいたいと、移住前に会社の仲間と一緒に旅行に来るほど別府に「はまった」そう。

交流の場

「コトリカフェ」を

移動販売車でオープン

栃木県では、「お店をつくる、まちをつくらう」という



ワークショップに参加しており、「別府に移住したら地域を活性化できるようなお店をしたい」と考えていました。それで、地域の人や観光客の交流の場になるようにと思っ

「と、移動販売の『コトリカフェ』をオープンした。始めた頃は、出店場所を貸してもらったりお店に来てくれたりと、地元の人温かさに助けられた。「困っている人や頑張っている人を応援してくれる感じがありますね」と話す。

現在では、「さらに別府に根付いた生き方をしたい」と移動販売に加え店舗もオープンした。

別府八湯温泉道名人会 副理事長として

別府の魅力を伝えたい！

別府に住んで良かったと感じることは「温泉が入り放題(笑)。風邪をひかなくなった

し、肌の調子も良くなりました」と、地域の人で利用する共同温泉を楽しんでいる。

都会で働いている頃は、コンビニの店員さんと話すだけの日もあったそうだが、「共同温泉では、挨拶から始まり一言二言と会話のふれあいがあるのが良いですね。ただ、入り込み過ぎないように絶妙な距離感も保つてくれるところもあると思います」。

一人になりたい時は貸し切り湯に行くなど、気分に合わせて

霧囲気や泉質の温泉を選べるのも別府の魅力だそう。現在では88箇所の温泉を巡った別府八湯温泉道名人会の副理事長も務めている。

「別府の魅力を伝え、旅行に来てくれる人を増やしていきたいです。来れば、好きな人にはたまらない別府の魅力にはまると思うので、移住する人も増えると思います」と地域活動にも頑張っている。



別府八湯温泉道名人会のメンバーと

おためし移住施設で「べっぴ暮らし」を体験してみませんか？

別府市への移住を検討している方を対象に別府での移住生活を体感いただける、おためし移住施設をご用意しています。

施設には生活に必要な家電等・消耗品（衛生用品を除く）もあります。詳細はHPでご案内しておりますので、是非ご覧ください。



おためし移住施設

別府市役所 政策企画課
〒874-8511 別府市上野口町1番15号
TEL 0977-21-1122
E-mail pco-pf@city.beppu.lg.jp

暮らして実感 別府市はこんなまち /八木さんから

休日の過ごし方は？

県外の友人を案内したり、湯めぐりや海の見えるカフェでゆっくり過ごしています。以前から名人会の活動で地域の共同温泉の運営にも携わっています。

Advice & My Favorite



市内にたくさん！共同浴場

名人会が運営に携わる「寿温泉」。1Fが共同浴場、2Fは地域の公民館となっており、このようなスタイルの共同浴場が市内にはいくつもあります。

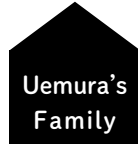


栃木県に住んでいた2007年、旅行で初めて訪れた別府の魅力に引き込まれ、2013年に移住してカフェを営んでいる。

八木みちるさん(50)

臼杵市に

住む。



上村 弘一さん (44)

移住の決め手は
食、子育て、
大分市に近い

2016年に臼杵市に妻の貴子さん、
2人のお子さんと移住し、素材や酵母にこだわった
パンづくりで充実した日々を送っている。



臼杵でパン屋『UEMURA
BREAD』を経営する上村さ
んご一家は、平成27年度移住
希望者向けモニターツアーに参
加後、翌年に名古屋市から移
住。素材や酵母にこだわったパ
ン屋の経営を軸とした生活が
できる場所として、臼杵を選

んだ決め手が「食、子育て、大分市に近い」こと。さらに、「臼杵市は有機農業を推進し、新鮮で安全な食材が身近にあること。また、小学校の給食は器からこだわり、市内の有機野菜を使っているなど、食育に対する意識も高いことに驚きました」と加える。大分市に近いことで経営や人の繋がりが日々広がっている。

パンや生活を通して
人が繋がる暮らし



臼杵の人の印象は「まじめで誠実な人が多いイメージ。人間らしく生活できる環境があるため、生きていくことに力強い」と感じている。また、グリーンツーリズム団体に加盟して農泊の受け入れも始め、親子で国内外の方との交流を楽しんでいる。移住前に比べ、時間に追われずにマイペースに生活ができ、地域との付き合いがポジティブな成長へと繋がっているとのことで、今後は

ライフスタイルを確立していくことを目標に、充実した日々を送っている。



高松 賢さん (53)

きっかけは
家との出会い、
人の繋がりが

自然農に打ち込むため2016年に妻の美恵さん、
2人のお子さんと岡山市から移住。
現在は農泊の受け入れも行っている。

震災後、関東から岡山を経由して、臼杵市に移住した高松さんご一家。自然農に打ち込める場所を探していたところ、臼杵市の平成27年度移住希望者向けモニターツアーを見つけて参加。ツアーの合間、事前にインターネットで気にかけていた物件を見学したところ、すぐに気に入って、近くに住むグリーンツーリズム団体の農泊家庭の方が仲介役となって、とんとん拍子で移住に繋がった。

ちようど良い田舎生活

臼杵市のことはほとんど知らなかったこともあり、「大

分の穴場」というイメージ。移住後は「田畑や豊かな自然があり、子育てや農業をするにはちようど良い場所。色んな野菜が作れるように」と『そよふく農園』で自然農に打ち込み、充実した日々を送っている。子供達が通う小学校や地域の皆さんが自分達を受け入れてくれて、人の繋がりが温かさをとて感じているという。また、「グリーンツーリズムに関わる方々がとても生き生きとしているし、市役所の職員も身近で親切に接してくれる」と、すっかり地域に馴染んで人との関わり合いを楽しんでいる。そんな高松さんも現在はグリーンツーリズムの農泊家庭として、市内外の子供達や移住希望者を中心に受け入れを始めた。

暮らして実感
臼杵市はこんなまち

市担当者から

子育て環境は？

- 保育所(園)は待機児童ゼロ。
- 地元産の安全で新鮮な野菜を学校給食で提供する『給食畑の野菜』で子どもたちの健全な育成を目指しています。



親子で遊ぶところは？

臼杵地域と野津地域に公園があります。休日には、市内外からファミリーが訪れて賑わっています。『リーフデわんぱーく(臼杵市総合公園内)』の長〜いローラー滑り台はスリル満点ですので、お父さんお母さんも、ぜひお子さんと一緒に体験してください!

移住モニターツアー、
おためしハウスで臼杵時間を体感!

「うすき暮らし」をゆっくりと味わっていただけるように、移住モニターツアーや、おためしハウスで皆さんのお越しをお待ちしています。また、引越費用・不動産仲介手数料の補助から若年・子育て世帯への家賃補助まで、移住・定住支援策を充実させています。登録急増中の空き家バンク物件もご案内しますので、レンタカー費用の補助等も活用しながら、ぜひお越しください。

臼杵市役所 地域力創生課
〒875-8501 臼杵市大字臼杵 72 番 1
TEL 0972-63-1111
E-mail kyoudou@city.usuki.lg.jp



うすき暮らしナビ

Advice & My Favorite

津久見市に住む。



津久見での暮らしを決めた理由は、地域の人のあたたかさ。

津久見市にゆかりはなく、交友関係を捨て、知り合いも

いない。高校野球で津久見の名前は知っていた程度。

リスクを背負ってでも、津久見での暮らしを決めたのは、地域の人のあたたかさ。

「田舎は排他的」というイメージも持っていたが、津久見でそのイメージが覆された。

物件の下見の時に声をかけてくれたり、移住後にDIYで進めた家の改修時に手伝ってくれたり、「多めに作ったから、食べて」といった食べ物や物の差し入れなど、困っている人がいたら自分が動かないと、という考えが損得勘定なしに、自然に出てくる人たちに驚いた。

その分、隣人宅の電球を変

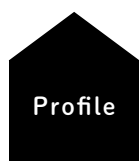


士の付き合い方」に驚いた。また、職も紹介してもらい、市内事業所での就職が決まった。

「人間らしい人」が多い

驚いたところでは、横断歩道を渡った子どもたちが、停まった車にお辞儀をしていたこと、自転車利用者のヘルメット着用率の高さなど。「人間らしい人」が多いと感じる。もちろん、津久見での暮らしはアクセスマも良くはなく、都市部とは異なり不便なことも多いが、日常的な買い物などでは特に困ることはない。それよりも、大変美味しいと感じた、魚をはじめとした津久見の食べ物の魅力や、やりたかった畑作業ができる暮らしぶりに満足している。

これまでと全く違う「人同



秋武 大輔さん (56)
岩田 礼さん (59)

福岡市博多区から移住。北九州出身。もともと建築関係の仕事をしており、定年後は古民家で自給自足の生活をしたかった。空き家物件を探中で、たまたま見つけた物件が津久見の物件で、津久見を初めて訪れた。内見をしたところ求めるものがそろっていたため、仕事を辞め、思い切って移住した。

今後の目標

家のDIYを進め、理想の家に仕上げていくことと、手探りでやってきた家庭菜園を上達させること。

暮らして実感 津久見市はこんなまち

秋武さんから

休日の過ごし方は？

休日はパートナーと津久見市内をドライブする事。津久見市は季節ごとにイベントがあり、イルカ島



や河津桜まつり等観光名所がたくさんあります。また家庭菜園をされていて、いろいろな野菜を栽培しています。いいところがいっぱいある津久見市へ是非、遊びに来てください。

移住補助金や空き家バンクなど 移住定住に関する制度の活用を！

津久見市へ移住される方に対し、住宅の新築や購入、改修費用には100万円、引越費用には20万円を上限として支給するほか、移住者奨励金10万円などを支給します。また、「津久見市空き家バンク制度」も行っております。物件詳細等、津久見に住むために必要な情報は津久見市移住定住ポータルサイト「つくみ de Life」でまとめて発信していますので、ぜひご覧ください！

津久見市役所 商工観光・定住推進課
〒879-2435 津久見市宮本町20番15号
TEL 0972-82-2655
E-mail tsu-kankou@city.tsukumi.lg.jp



つくみ de Life

Advice & My Favorite

竹田市に住む。



活気づいた

「ふるさと」竹田に戻ってみたい

竹田市で地域おこし協力隊として活動する黒阪旅人さんは2021年9月にUターンした。黒阪さんは、小学校から高校までの12年間竹田市で過ごし、関東の大学に進学後、東京の企業に就職した。



の頃から付き合い合っていた方と結婚することになり、今後、住む場所や子育て環境を考えた際に「ふるさと」である竹田に戻ることを決意した。

たくさんさんの魅力が詰まった竹田での活動

「ふるさと」である竹田のために、これまでの経験を活かした活動をしたいと考えたところ地域おこし協力隊制度を知り応募した。

活動内容は、学校やイベントでのものづくりワークショップの開催、デジタル工作機械を使用して看板製作、竹を利用した商品開発、学校の授業等で自分のUターン経験の発信を行っている。また、最近では2017年に祖母・傾・大崩ユネスコエコパークに登録された祖母山麓エリアで渓流魚「アマゴ」をテーマにした自然ガイドもを行っている。

活動をする城下町は、まちを歩けば知り合いがいるコンパクトな環境が心地良い。意外と同世代の仲間たちも竹田に住んでいた。若いうちに地元に戻り、色々な仲間とともに活動できていることが良かった。

自分の経験を竹田のために活かしたい

改めて戻ってきた「ふるさと」竹田をまだまだ活気づけたいと思っており、社会人としての経験、そして今活動している地域おこし協力隊の経験を、自然豊かな竹田の特徴を生かして「ものづくり」「自然」をキーワードに活動を展開していきたい。子どももこの12年間過ごし、そして大人になって戻って感じた竹田の魅力も、今後は生まれてくる子どものためにも残していきたいと思っている。

最後に私が竹田で特に好きな場所は、城下町にある広瀬神社からの眺め。城下町を一望でき、ジオラマのようにコンパクトにまとまった景色を眺められる。ぜひ、城下町を散歩する際は立ち寄ってほしい場所である。

暮らして実感
竹田市はこんなまち
/市の担当者から/

おすすめのイベントは？

毎年11月に行われる「竹楽」というイベントです。竹を切り、灯を灯しただけのシンプルな竹灯籠が城下町中に並ぶ風景に感動します。



子どもが楽しむ場所

日本名水百選に選ばれた竹田湧水群の中の一つ河宇田湧水の横にある河川プール。夏には多くの子どもたちが楽しむ場所で、無料開放しています。



©KOJIMA NAOTO



職業：地域おこし協力隊
家族：妻
出身地：大分県竹田市
前住所：千葉県松戸市
移住時期：2021年9月

黒阪 旅人さん (31)

移住サポートは充実しています。移住のことなら、竹田市にお任せください！

竹田市はこれまで、移住・定住政策を推進し、若者やアーティストなど300名以上の移住を実現しました。「空き家改修事業補助金」や「Uターン促進住宅取得・住宅改修事業補助金」、「移住応援給付金」などの助成制度があり、あらゆる移住に対応できるよう努めています。

竹田市役所 総合政策課
〒878-8555 竹田市大字会々 1650 番地
TEL 0974-63-4801
E-mail seisaku@city.taketa.lg.jp



竹田市移住サイト

豊後大野市に

住む。



浅野 順子さん (39)

2021年に福岡県から豊後大野市へ移住。
テレワークを中心に幅広く活動をされている。

移住の決め手は「人との出会い」

福岡県から豊後大野市へ移住された浅野さん。移住前は、



語学力を活かして、韓国、シンガポール、モルディブ、オーストラリア等世界各地でグローバルに活動をされていた。世界を飛び回る中で、「自然豊かな場所で暮らしたい」という思いが芽生えたそう。「30歳になる年にオーストラリアのタスマニアでホームステイをしていたんです。タスマニアという地域は、手つかずの自然が残っている本場に綺麗なお店が揃っています。そこでは自給自足の生活を経験して、案外苦じゃなかったんですよ(笑)。その後、ニュージーランドでも自然に囲まれて生活をして、こういう生き方を続けていきたいと思うようになりまして。」日本に戻り、移住先を探される中でいくつか地域を回られたそう。その中で、稲積水中鍾乳洞に行くために訪れた豊後大野市も移住先候補の中に残っていて、再度豊後大野市を訪れたとのこと。そこで出会った「人」との繋がりが、豊後大野市への移住を決意させた。

移住希望者の壁「住まいと仕事探し」

移住希望者にとっての大

きな壁である「住まい」と「仕事」探し。浅野さんは、「キーパーソン」との出会いから、住まいと仕事が決まり、それが豊後大野市への移住の後押しになったそう。いきなり移住するのではなく、お試しで1カ月豊後大野市に滞在された浅野さん。そこで地域に幅広い人脈を持つておられる方、いわゆるキーパーソンに出会ったとのこと。「その方に住まいと仕事を探していることを伝えたら、すぐに紹介してくれて。トントン拍子に住まいも仕事も決まりました。」住まいや仕事探しに苦労される移住希望者の方も多い。アドバイスを聞き出したところ、「まずは声に出すことが大事。いろいろな人に相談をしていらずと情報が入ってきます。インターネット上に情報が出ていない物件や仕事もたくさんあると思うので、地方では、ローカルネットワークをフルに活用すると



ローカルからグローバルな出会いを

いいと思います。」

現在テレワークでお仕事をされたり、テレビ番組で地域の魅力を発信するリポーターを務められたりと、幅広い活動をされている浅野さん。豊後大野市で今後やりたいことをお聞きしたところ「バックパッカーズホテルのようなイメージの宿泊施設を運営したいなと思っています。極端に綺麗な景色があるわけではありませんが、田舎の当たり前の風景を楽しんでもらえる、気軽に立ち寄れる場所を目指したいです。語学力を活かして外国の方にも日本の田舎の文化や暮らしを伝えていきたいです。」と語っていた。豊後大野市は日本ジオパークに認定されており、ジオパークの魅力を地域や観光客のみならずに伝えていただくジオガイドを養成している。次年度、浅野さんもガイド取得を目指されるのか。グローバルな視点を持ちながらも、ローカルな暮らしやコミュニティを大事にされている浅野さん、今後の活躍が楽しみだ。

暮らして実感 豊後大野市はこんなまち

市の担当者から

子育て環境は？



豊後大野市には子育て世代の親子が交流・相談する「子育て支援センター」が市内6カ所にあります。

移住したママ達のより所として利用されています。

オススメの場所は？

関係人口交流拠点施設「cocomio」では、ゲストハウスやコワーキングスペースの利用のほか、起業・創業・就職など幅広くごとにまつわる相談もできます。ぜひ一度お越しください。



Advice & My Favorite

空き家バンクや移住補助金を活用ください！

空き家バンクを通じて、住宅の購入や改修をされた移住者の方に対して、最大100万円の補助金があります。(子育て世帯には20万円の加算あり)また、空き家バンク制度は随時相談・受付を行っています。まずは移住や住まいに関する情報を総合的に詳しく掲載している豊後大野市移住定住ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」を検索ください。

豊後大野市役所 まちづくり推進課
〒879-7198 豊後大野市三重町市場 1200 番地
TEL 0974-22-1004 (直通)
E-mail bo060020@city.bungoono.lg.jp



ぶんごおおの暮らし手帖

由布市に

住む。



子育てと仕事の両立を めざして移住

山々や温泉が点在する自然豊かな由布市へ2021年に移住された山崎さん一家。夫婦で、「農のある暮らし方」をテーマに、自身で育てたお米や野菜を使用したランチと手作りのケーキやドリッブコーヒーなどを提供するカフェを営んでいる。



福岡県から由布市へ移住。自分たちで育てたお米や野菜をつかった料理や、手作りケーキ、ドリッブコーヒーなどを提供するカフェを営んでいます。

山崎 敬祐さん (43)
志乃さん (42)

昔住んでいた福岡県では夫とともに会社に勤め、子どものお迎えの時間がぎりぎりになつてしまうことがあるくらい忙しい毎日を過ごしていたという。「このままでは、子育てと仕事の両立ができない」と感じ、志乃さんの故郷である由布市挾間町への移住を決意。「福岡に住んでいたときは、ドアを開けたら目の前は道路だし、家同士の距離が近いので、気を遣わないといけないことが多かった。妻の実家がある由布市に帰省するたび、子どもが楽しそうに外を走り回っている姿を見て、こういうところに住めば、子どももこのび成長できるだろうと感じた」と話す。小学校に入学する前に移住した方が友達

も増えるだろうと考え、息子さんが小学校に上がるタイミングで由布市へ移住した。



農のある暮らし方

「いわゆる『田舎暮らし』は初めてで、最初は分からないこともたくさんあった。特に、移住したらやりたいと思っていた米作りや野菜作りは、その土地、その土に適した方法でやる必要があるの、昔から農業をしている義理のお父さんにゼロから付きつきり指導をしてもらいました」と笑顔で話す。今では、お米、なす、だいこん、さつまいもなどカフェで使う食材は、できるだけ家族で育てている。



「スーパーなどで買った野菜を食べていた自分たちからすると、食材の味が濃くて、感動するほどおいしい。県外からも多くの方がお店に来てくれるが、みんなおいしいと言ってくれる」生産者の顔、そのお米や野菜を育てている畑を目の前に見ながら食べるランチは格別だ。

地域に根ざした経営で みんなから愛される カフェに

「このカフェを細く長く続けていきたい。ここから見える由布岳は、豊後富士と呼ばれていて、四季折々の風景を楽しむことができます。忙しい日常に『ほつ』と落ち着ける場所をみなさんに提供していきたい」と話す。地元の方をはじめ、市外や県外からもお客さんが多く訪れるこのカフェ。「食」を通じて、「人と人」、「人と由布市」をつなぐ重要な役割を果たしている。

暮らして実感
由布市はこんなまち
/山崎さんから/

移住を希望される方へ (アドバイス)

1週間でもその地域で生活をして、その地域の雰囲気や文化などを体感してみるといいと思います。由布市の実家に何度も訪れていたため、移住する前からこの地域の雰囲気を知ることができ、移住を決断することができました。最初は住みたい地域にある、まちづくり協議会や農泊などを活用しながら現地の人から情報収集してみるのも良いかと思います。もし由布市に移住したいということがあれば、私でよければいつでもご案内します。



Advice & My Favorite

空き家の紹介・案内、 改修費用の補助もご利用できます！

由布市では、市内の空き家の登録、紹介を行い、居住者を探す「空き家バンク制度」を実施しています。また空き家バンク制度を活用してご契約いただいた場合には、リフォーム工事費用の補助金もご利用いただけます。移住者への補助制度もありますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

由布市役所 総合政策課

〒879-5498 大分県由布市庄内町柿原 302 番地
TEL 097-582-1111 (内線 1244) E-mail seisaku@city.yufu.lg.jp
農泊施設のご案内 <http://yufuguri.jp/>

日出町に

住む。

interview
08

Akanuma's
Profile

赤沼 翼さん (41)

2022年に東京から日出町に移住した赤沼さん。
テレワークでお仕事をしながら、日出町での暮らしを満喫されています。

北海道と正反対の 気候を求めて

外資系IT企業で人事を担当している赤沼さん。会社は



東京だが、日出町に住み、リモートワークで働いている。働き方改革により、居住地が限定されない、よりフレキシブルな働き方が取り入れられたことが移住を考えたきっかけ。

北海道夕張市出身の赤沼さんだが、雪のない東京に慣れてしまうと、再び北海道で雪のある生活に戻れないと思っってしまったという。そこで、思い切って正反対の土地をと九州に移住先に選んだ。「地元の夕張は山の中だったので、すぐ近くに別府湾がある環境が新鮮だった」と話す赤沼さん。年齢を重ねて、温泉にも魅力を感じてきていたこともあり、別府に移住先として家探しを始めたが、住環境や間取りなどが希望に沿う物件がなかなか見つからなかった。そんな中で目付いたのが隣の日出町だったという。

地場の野菜と温泉 そして別府湾

お母様と2人暮らしの赤沼さんは昔から料理が趣味で、2人分の夕食も赤沼さんが作っている。日出町では、どのスーパーでも採れたての新鮮な野菜を買うことが出来るほか、北海道や東京では見ることがない魚も多くあり、料理をするのがとても楽しいとのこと。「特に鯛がぷりぷりで美味しい」と話してくれた。また、東京にいたころは意識していなかったカボスもよく使うようになったそうで、みそ汁やハイボールに入れるほか、様々な料理に隠し味として使っている。また、自炊だけでなく、町内の飲食店にもよく行くらしい。まだ訪れたことが無い店もあり、行くのを楽しみにしているというのだ。

料理以外に、ランニングや温泉も趣味とのこと。東京にいた頃から続いているランニングは、別府湾沿いの城下遊歩道を中心に、その日の気分やコースを決めている。自分を鍛えなおしたいときは勾配の厳しいコースを選ぶらしい。温泉については、大分に来てすぐに別府八湯温泉道のスパ

ポートを入手し、温泉道名人をめざしている。町内のお気に入りにはホテルソラージュ大分・日出で、月に2回ほど通っているそうだ。

自然は豊かだけど 利便性はよい

「ちょうど良いサイズの の田舎」

日出町の感想を「自然が豊かで食も豊か。人も優しい」と語る。特にそれを実感するのは、町内の児童生徒があいさつをしてくれること。当たり前のことが当たり前前にできる、人間らしい生活ができていると感じているという。「東京にいる頃は常に気を引き締めて緊張していた」と語る赤沼さん。東京は何でもある・なんでも手に入る環境だったが、若干の不便さがある今の方が、日常のありがたさを実感している。都会ではなく田舎過ぎない、そんな「ちょうど良い田舎暮らし」のできる日出町が、赤沼さんに上手くマッチしているようだ。

暮らして実感 日出町はこんなまち

町の担当者から

移住を希望される方へ

日出町は、人口約 28,000 人、面積 73.26 km²のコンパクトシティです。大分県中部、温泉で有名な別府市の隣に位置し、南向きで日当たりのよい温暖な気候の街です。サンリオキャラクターのテーマパーク「ハーモニーランド」や名産の「城下かれい」が有名なほか、水がきれいで、複数の湧水スポットが存在します。



日出は水資源が豊富な町で、上水道の多くが良質な湧き水で賄われているほど

Advice & My Favorite

宿泊費補助制度を活用して、ひじ暮らしを体感！

移住定住を目的とする活動を行うために町内の宿泊施設を利用する方を対象とした「ひじ暮らし体験宿泊費補助金」を利用し、日出町を体感してみてください。また、空き家バンク制度、県外からの移住者への補助制度などの支援もありますので、ぜひ日出町にお越しください。

日出町役場 まちづくり推進課
〒879-1592 速見郡日出町2974番地1
TEL 0977-73-3158
E-mail hijigurashi@town.hiji.lg.jp



移住定住情報

「大分市」

会いに行ける。
アイドル(サル)がいる。

高崎山自然動物園ではかわいい野生のサルをすぐ近くで見ることが出来ます。サルの総選挙も実施しており、人気の子ザルに会いに行けば、癒されること間違いなし。



「別府市」

1 別府の道案内は上、下？

南北に走る別府の道、道順を説明するとき、東側(海側)、西側(山側)へ曲がることを、東西で表現せず、上(山側)、下(海側)といえます。別府市の地形ならではの表現です。

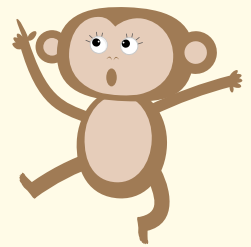
2 マイカーに必ず

積んでいる必需品はコレ!?

温泉好きの多い別府市民の車には石鹸・シャンプーなどの温泉セットが積んであるらしい。今日はどこの共同浴場へ行こうかなあ



なるほど! おおいた



「津久見市」

1 いろんな品種の みかんが楽しめます

津久見市といえばやっぱりみかん。みかんの代表、温州みかんや津久見市発祥の甘夏など、季節によって特徴の違うみかんを味わうことができます。



2 各種イベントに市の人口 以上のお客さんが訪れます

夏の風物詩である納涼花火大会や早春に咲き乱れる河津桜など、津久見を代表するイベント時には津久見市民総人口(約16000人)の倍以上の観光客でにぎわいます。

「由布市」

渋滞なし!?
信号も少ないので
移動はスイスイ!



信号が少ないので、車で30分以内の範囲は近所です(笑)

「豊後大野市」

1 伝統芸能が盛ん!

いろんな伝統芸能の中でも「神楽」は16社保存会があり、年間を通して、市内あちらこちらで、笛や太鼓の音が鳴り響いています。

2 「○○の達人」がいる!

大分の代表的な特産品、「乾しいたけ」。量、質とも日本一、いや世界一を誇っている豊後大野市の生産者には、全国乾椎茸品評会において農林水産大臣賞等を受賞されている「椎茸作りの達人」が、たくさんいます!



「臼杵市」

子どもの挨拶がすごい!

臼杵っ子はみんな元気! 通りすがりの見知らぬ人にも大きな声であいさつをするので移住した方はみんなびっくりします。

「竹田市」

よく間違え

られます①

「竹田」の読み方は、「たけだ」ではなく「たけた」です。

TAKETA



よく間違え

られます②

「天空の城」で有名な「竹田城」は竹田市にあると思われがちですが、実は、兵庫県朝来市にあります。

しかし、竹田市には滝廉太郎の「荒城の月」のモチーフになったと言われている「岡城跡」があります。

「日出町」

おいしい水、湧いています!

ミネラルが溶け込んだ湧水を求めて町内の水汲み場には、地元の人はもちろん、近隣からもたくさん水汲み客が空の容器やペットボトルを持って訪れます。

また、良質な飲み水や自然に囲まれた住環境を求め、勤務地は町外だけど、住まいは町内という人が結構います。